

茂木信太郎先生へ贈る言葉

The words of farewell to Professor Shintaro Mogi

大島 正克*

Osima, Masakathu

茂木信太郎先生は、2019（平成31）年3月31日をもって、亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科を定年退職されます。ここに謹んで茂木先生へ贈る言葉を述べさせて戴きます。

茂木信太郎先生との出会いは、ある意味、劇的と申しまししょうか、あるいは、巡り合わせと申しまししょうか。思い返せば2008（平成20）年の1月の霰が降る夕方、当時経営学部長を拝命していた小生は石塚隆男先生とともに、緊張してあるいは悲痛な面持ちで、飯田橋にあるホテルエドモントのカフェにて茂木先生とお会い致しました。と申しますのも2007（平成19）年秋に、経営学部の新学科ホスピタリティ・マネジメント学科の新任人事が教授会で否決されたため、新学科設置はほとんど絶望的という状況下、2008（平成20）年3月までにフードサービスを含む4名の新任人事がうまくいけば、再度、2008（平成20）年7月の新学科設置申請に向けて稼働できるという危機的な場面に我々は直面していたからです。

石塚先生が、ご自身がお持ちの能力をフルに生

*亜細亜大学学長・経営学部教授

かして、不眠不休にてフードサービス関係の先生を探したところ、茂木信太郎先生という素晴らしい先生が信州大学にいらっしゃるということを見出し、その旨の報告が小生にありました。石塚先生は直ちに茂木先生に関する膨大な資料を集め、整理し、教授会提出資料としてまとめ上げました。お陰様にて教授会では、茂木先生が了解ならば、人事は認めるということまでやっと辿り着くことができました。なんとか茂木先生の電話番号を探し出し、直接お電話させて頂きましたところ、近日中に東京に行く用事があるということでしたので、その日に合わせ飯田橋のホテルエドモントに二人で出かけたという次第です。

石塚先生と小生は、初対面の茂木先生に、この場に来た経緯をお話し、1年後の2009（平成21）年4月から、新学科であるホスピタリティ・マネジメント学科のフードサービス分野担当の専任教授として来て戴きたい旨のお願いに入ったところ、フードサービスに関する科目を独立科目として設置している大学は日本にはないということで、大

変ご理解を頂き、前向きにてご検討を頂くという我々にとりましては極めて有り難いお言葉を頂くことができました。人事案件の最初のアプローチだったので感激も一入でした。直ちに教授会にてご了解を頂き、2009（平成21）年4月から、先生を我々がホスピタリティ・マネジメント学科の専任教授としてお迎えすることとなりました。

新学科のホスピタリティ・マネジメント学科に専任教授として来られてからも茂木先生は教育に研究に大変精力的でした。信州大学時代のやり方を亜細亜大学に移転してくださり、とりわけ研修は素晴らしく、会計学が専門の小生も、茂木先生の研修に履修学生さんと一緒に参加させて頂きました。例えば戸塚にある食材卸販売久世の食材保存の超低温冷凍庫の-50℃の体験や東京ガスのプロ向けの展示用厨房での低温スチームで芯温管理して作製されたデザートの意味も忘れられません。このときの東京ガスのショールームのキッチンにて茂木ゼミ生が実習体験する写真とともに「体験しながら身につける」というタイトルで2009（平成21）年10月18日の朝日新聞に、亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科が紹介されましたが、こうした新聞掲載も茂木先生のご尽力の賜です。

当時の学長であった小川春男先生とともに、浅草の高級料亭であり、その後、ホスピタリティ・マネジメント学科のインターンシップ先の一つにもなりました茶寮一松にもでかけ、高級料亭とはどのようなものかを体験させて頂きました。

茂木ゼミと吉野家の研修に同行させて頂いたときはメニュー開発を学ぶとともに、小生の授業にて協力頂いた牛井3社（吉野家、松屋、すき家）に関する学生アンケート結果や小生の3社比較の経営分析なども発表もさせて頂き、まさにホスピタリティ・マネジメントそのものを体験することができました。

日本フードサービス協会や外食アワードの大会にも参加させて頂き、フード産業は第1次産業から第3次産業まで、実に幅の広い産業であることも改めて認識することができました。

ホスピタリティ・マネジメント学科は、2年次の基礎演習が通年でかつ必修科目であることから、AUAPに参加できませんでしたが、茂木先生だけは、2年次の基礎演習科目の集中型も通年型とともに設置して下さったお陰様にて、2015（平成27）年度からの3年間に亘ってホスピタリティ・マネジメント学科生でもAUAPに参加（2015年度12名、2016年度16名、2017年度14名）することができました。AUAP修了後のゼミ生には、東京アメリカンクラブなどの英語を使う企業にてインターンシップを体験させ、さらに毎年「AUAP留学体験とその後」という報告会を開いてこられました。茂木先生のご退職とともにホスピタリティ・マネジメント学科生のAUAP参加は途絶えようとしています。茂木先生が残された研修の素晴らしいやり方やAUAP参加推進と帰国後のAUAPの成果をさらに伸ばすようなインターンシップ体験とその報告会をしっかりと残し発展させることが残された我々の任務と思っております。

小生も新学科のホスピタリティ・マネジメント学科がスタートすると同時に、本学科へと所属が変更になり、初対面以来、ご一緒する機会に恵まれました。茂木先生はお酒をお飲みにならないにもかかわらず、お酒を飲む仲間の先生たちとも違和感なく付き合ってこられました。茂木先生のご教授にてフードサービスの知識も格段に付きました（と思っております）。まさに食の世界は深い。興味は尽きません。

行政面では、ご定年になる直前まで、ホスピタリティ・マネジメント学科の学科主任を担当して

くださり、本学科の発展にご尽力頂きました。心
から御礼申し上げます。茂木信太郎先生の今後の
益々のご発展を心から祈念いたしております。